

2021年度運動方針を決定!

～松岡衛中央執行委員長率いる新体制のもと、一致団結し運動方針に沿った取組みを強力に進めていくことを確認～

8月23日に、対面とオンラインを併用し、第53回定期大会を開催しました。当日は、2021年度運動方針を全会一致で決定するとともに、役員改選により、松岡衛中央執行委員長をはじめとする新執行部体制が誕生しました。(新執行部の顔ぶれは3面をご覧ください)

冒頭、松岡中央執行委員長は、挨拶において「歴史的な環境変化に直面している今こそ、よりよい方向に向かうための方策を協議・交渉できる労働組合の存在意義をいかに発揮していこう」と力強く呼び掛けました。

また、連合の神津会長、支援議員を代表して平野博文衆議院議員と矢田わか子参議院議員から、連帯と激励の挨拶をいただきました。

1年間の取組み報告では、2020年度の一般活動経過報告・連合報告のほか、「2020年度『営業職員体制に関するプロジェクト』最終報



▲連合・神津会長



告」および「総合生活改善闘争(2021春闘の取組み)の成果と課題」について特別報告を行いました。

2021年度の運動方針については、活発な議論を経て全会一致で決定され、引き続き4つの柱に沿い運動を推進していくことを確認するとともに、特別委員会として「2021組織・財政検討委員会」を設置することが確認されました。

最後に役員改選により新執行部が選出され、本大会で確認された新たな運動方針に沿い、力強く取組みを進めていくことを誓い合い、閉会しました。

◆2021年度運動方針 4つの柱◆

- I. 生保産業の社会的使命の達成
- II. 総合的な労働条件の改善・向上
- III. 組織の強化・拡大
- IV. 生保産業と営業職員の社会的理解の拡大

中央執行委員長挨拶

お客様の不安を払拭するのは わたしたち生保産業の社会的使命

不確実性の高い時代だからこそ生命保険の重要性は高まっている

新型コロナウイルスの国内初確認から1年半以上が経過する中、ワクチン接種の進展等により将来への明るい兆しが見られるものの、感染力の強い変異ウイルスの流行等もあり、コロナ禍の終息時期は依然として見通すことができません。

長期間にわたりコロナ禍の厳しい環境の中でそれぞれの業務にまい進されておられる全国の組合員の皆さんに敬意を表します。

さて、日本社会・経済は、少子高齢化や人口減少、地方再生といった従来からの課題に加えてコロナ禍に直面し、不確実性が增大しています。

こうした変化が激しく、先を見通せない時代だからこそ、お客様の不安を払拭し、一人ひとりの人生をより豊かで健康なものにしていくために、「生命保険」の意義・重要性はより一層高まっており、「お客様に寄り添いながら安心をお届けする」という、われわれ生保産業の役割をこれまで以上に発揮していかなければなりません。



中央執行委員長
松岡 衛

環境変化に対応した営業活動・働き方の定着が重要課題

社会環境の変化に対応した営業活動や働き方の実現に向けて、営業職員関係では非対面・非接触で様々なお客様対応が可能となるツールを中心にインフラ整備が進み、内勤職員関係ではテ

当日の質疑応答の一部を2面に掲載しています

レワークなどの柔軟な働き方が広がりつつあります。

こうしたコロナ禍で懸命に業務に取り組む組合員を後押しする対応を、これからは感染防止対策のみならず、組合員一人ひとりの働きがいや生きがいにつながるように、いかに効果的・効率的に活用していくかが重要となります。

営業活動を例に挙げれば、「オンライン」を活用することで、より多様なニーズにお応えすることが可能となり、お客様の利便性向上も期待されます。また、従来の「対面」を中心とした活動に「オンライン」をうまく取り入れることで、私たちの最大の強みである「お客様に寄り添い、親身に支える」という地域・社会に密着した営業スタイルを更に進化させることができるのではないのでしょうか。

この進化した「フェイス・トゥ・フェイス」の活動を定着・浸透させていくためには、現場レベルでのより丁寧な教育・指導やさらなる活動支援が必要ですし、営業関連業務やお客様対応業務など、間接的に営業現場に携わっている部門も含め、営業職員・内勤職員が一体となって取り組むことが重要です。

コロナ禍によって急速に進みつつある営業活動や働き方の変革に地に足をつけて取り組むことは生保産業の持続的な発展に不可欠であると考えています。

生保産業のさらなる発展の原動力は一人ひとりの組合員

これまで、そしてこれからも、お客様からの信頼を維持し、生保産業がさらなる発展をしていくための原動力は「人」の力であり、一人ひとりの組合員の力に他なりません。

歴史的な環境変化に直面しているからこそ、「組合員一人ひとりの声」を把握し、より良い方向に向かうための方策を労使で協議・交渉することができる労働組合の役割は大きいと確信しています。

生保労連といたしましても組合員のみなさんが誇りとやりがいをもって日々の職務にまい進できるよう全力で取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。